学校番号	1206

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅰ	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	新　高校の数学Ⅰ　（数研出版）						
副教材等	新　高校の数学Ⅰ対応　教科書学習ノート数学Ⅰ　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

1 年生で学びなおした知識を活かし、数学Ⅰを学習する。計算方法を理解し、様々な問題できちんと使うことが出来るようになることが目的です。習熟度別にクラスを分けて、生徒の実力を見極めたうえで各クラスにあった授業を展開し生徒の実力を伸ばしていきます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
数学における概念や原理・法則を理解するとともに、事象を数学化したり、数学的な解釈、表現・処理する技能が身についている。

【思考力、判断力、表現力等】
数学を活用して事象を論理的に考察する力や数学的な表現により事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】
積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断する態度等を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学における基本的な概念、原理・法則などの知識を体系的に理解できる。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な思考力や判断力が身に付いている。	数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	数と式の計算	・多項式の計算 ・式の展開 ・因数分解	a:無理数、乗法公式及び因数分解の公式が理解できる。 b:既に学習した計算の方法を関連づけて適切に変形ができる。 c: 学習した内容を様々な場面で活用しようとしている。	定期考査 授業 プリント	定期考査 小テスト	提出物 観察
	1次不等式・2次関数	・方程式と不等式 ・2次関数のグラフ	a: 様々な２次関数の式とグラフの位置関係を調べることができる。 b: ２次関数とそのグラフについて感心をもち、それらを２次関数の考察に活用することができる。 c: 学習した内容を様々な場面で活用しようとしている。	定期考査 授業 プリント	定期考査 小テスト	提出物 観察
	2次関数	・2次関数の最大、最小 ・2次方程式 ・2次不等式	a: ２次方程式、２次不等式に関心を持ち、解を求めることができる。 b: :様々な２次関数のグラフを変形し頂点や軸、最大や最小値を見極めることが出来る。 c: 学習した内容を様々な場面で活用しようとしている。	定期考査 授業 プリント	定期考査 小テスト	提出物 観察
後期	図形と計量	・三角比	a: 正弦、余弦、正接が直角三角形の辺の比と角の関係として理解できる。 B：直角三角形を用いて考えられる計量の問題を、三角比の記号を用いて表現し処理できる。 c: 学習した内容を様々な場面で活用しようとしている	定期考査 授業 プリント	定期考査 小テスト	提出物 観察
	集合と命題	・集合 ・命題	a: 集合の記号を理解できる。命題の真偽が判断できる。 b: 2つの集合の関係性がわかる。必要条件・十分条件を理解できる。 c: 学習した内容を様々な場面で活用しようとしている。	定期考査 授業 プリント	定期考査 小テスト	提出物 観察

	データの分析	・データの整理 ・データの代表値 ・データの散らばり ・データの相関	a:データの分析に必要な用語やその内容を理解し、求めることができている。 b: 分散、標準偏差について理解、相関係数についても理解し、データ分析に活用できる。 c: 学習した内容を様々な場面で活用しようとしている。	定期考査 授業 プリント	定期考査 小テスト	提出物 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度